



神鍋線「上限 200 円バス」社会実験事業スタートから 1 カ月 ～ 持続可能な公共交通を目指して～

利用者の減少が著しく、現行のサービス水準の維持が困難である全但バス神鍋線において、通勤や通学に対応できる朝晩 1 便ずつの増便を行うとともに、運賃の上限を 200 円とすることにより利用者増を目指す社会実験を 10 月 1 日から開始した。

スタートから約 1 カ月間の利用状況をお知らせする。

1 事業の趣旨

地元、全但バス、市の 3 者がそれぞれの責任を果たし、公共交通を守っていく社会実験を行う。

2 実証実験期間

平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日

3 利用状況(10 月 30 日現在)

定期券利用状況では通勤等利用・通学利用ともに大きく伸びており、社会実験開始前の約 2.9 倍の利用者となっている

しかし、全体では目標とする利用者数には達していないため、引き続き利用促進に努める。

年間目標利用者数 121,000 人

(1) 1 日当たりの利用状況

	H23.10 月 平均	うち平日 平均	うち土日祝日 平均
目標利用者数	330 人/日	(330 人/日)	(330 人/日)
実績	236 人/日	263 人/日	189 人/日
比較	94 人/日	67 人/日	141 人/日
1 便平均	11.5 人/便	11.4 人/便	11.8 人/便

実績については定期利用者を 30 日利用としてカウントしている。

ダイヤ設定は、平日 23 便、土日祝日 16 便

	H23.2 月調査	H23.9 月平均 (ア)	H23.10 月平均 (イ)	比較 (ア・イ)	
				人数	割合
目標利用者数			330 人/日	-	-
実績	187 人/日	147 人/日	236 人/日	+89	1.6 倍
比較			94 人/日	-	-
1 便平均	8.9 人/便	7.8 人/便	11.5 人/便	+3.7	1.5 倍

利用者乗降調査を 2 月と 6 月に実施

(2) 定期券利用状況

		H23.3 月	H23.9 月 (ア)	H23.10 月 (イ)	比較 (ア・イ)	
		実利用者数	実利用者数	実利用者数	実利用者数	割合
定期券	通勤等利用	3	3	16	+13	5.3 倍
	通学利用	0	8	16	+8	2.0 倍
	計	3	11	32	+21	2.9 倍

H23.4.1～ 高校生通学定期補助制度適用 (上限 15,000 円/月)

H23.10.1～ 上限 200 円バス社会実験開始 (最高 7,200 円/月)



(3) 増発便の利用状況

今回新たに平日のみ増便した。設定した早朝便「エクスプレス便」については、通勤・通学による一定利用があり、1便当りの平均乗車を上回る利用者数となっている。

しかし、午後9時台の江原駅発の最終便の利用者は、1便平均の約30%にとどまっている。

	早朝便 (ア)	最終便 (イ)	1便平均との比較	
			(ア)	(イ)
利用者数(人/日)	12.8	3.4	+1.4人	-8.0人

平日1便当りの平均利用者数は11.4人/日

4 今後の取り組み

市、運行事業者、地域が一体となって、一層の利用促進に取り組む。

高校生を中心とした定期利用の働きかけ

- ・学校への依頼訪問

日帰り温泉や地元産品をお得に楽しんでいただける割引サービス等の周知

割引サービス等 ... は10月1日から、 は11月1日からスタート

道の駅神鍋高原

- ・ゆとろぎ入浴料 4割引
- ・お食事処かなべ食事代 1割引

ガンピー穀物倉庫

- ・神鍋線に乗っての来店者は2,000円以上のお買い物で運賃片道負担

神鍋カントリークラブ

- ・神鍋線利用者のプレイフィー 4割引

神鍋地域の資源を活用したイベントとタイアップした利用促進の実施

予定イベント

- ・清滝桜まつり(4月中旬)
- ・神鍋溶岩流ジオウォーク(4月下旬)
- ・神鍋春の山菜・野菜まつり(5月中旬)

参考

1 協定書締結式

日時・場所 平成23年9月20日(火)午後8時35分~9時
清滝会館(豊岡市日高町山宮1341)

協定書の内容 別添のとおり

2 社会実験出発セレモニー

日時・場所 平成23年10月1日(土)午前8時~8時30分
JR江原駅東口(豊岡市日高町日置)

実施内容 あいさつ、サービス向上宣言、バス幕披露
記念撮影、社会実験開始宣言 ほか



3 神鍋線乗って守ろう市民運動推進協議会

目的と主な活動内容

神鍋線の活性化を図り、持続可能な公共交通として次代に引き継ぐため、神鍋地域の住民および団体が総力を挙げて利用促進に取り組むことを目的として設立

構成団体

地元区長会、観光・商工団体、高齢者・女性団体、学校保護者会など、39団体で構成

〔問合せ〕豊岡市都市整備部都市整備課 0796 - 23 - 1712
日高総合支所地域振興課 0796 - 42 - 1111



路線バス活性化社会実験運行事業に関する協定書

豊岡市、神鍋線乗って守ろう市民運動推進協議会及び全但バス株式会社は、路線バス活性化社会実験の実施にあたり、それぞれの役割と責任を主体的、積極的に果たすことにより、路線バス神鍋高原線の活性化を図り、将来にわたり持続可能なものとするを目的に協定を締結する。

事業の利用者目標を年 121,000 人とする。

この協定書の成立を証するため、本書 3 通を作成し、記名押印のうえ、各自 1 通を保有する。

平成 23 年 9 月 20 日

豊岡市中央町 2 番 4 号

豊岡市長

中 貝 宗、 治

豊岡市日高町祢布 920 番地 豊岡市日高総合支所内

神鍋線乗って守ろう市民運動推進協議会

会 長

井 上 正 裕

養父市八鹿町八鹿 113 番地の 1

全但バス株式会社

代表取締役社長

桐 山 徹 郎